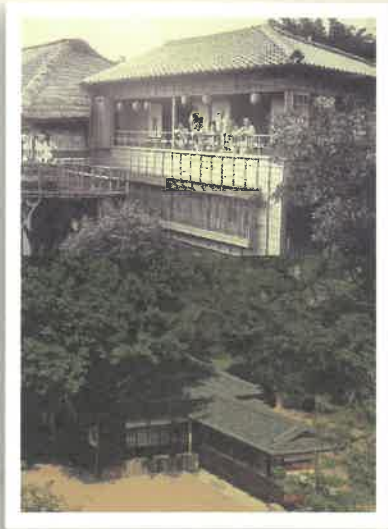


紀州庵

KISHUAN 1917

百年を超える日本式建築物



紀州庵

開館時間：火曜日～日曜日 10：00～17：00

定休日：月曜日

電話：02-23687577 FAX：02-23688139

メールアドレス：service@kishuan.org.tw

Website: <http://www.kishuan.org.tw>

ガイドサービス

- ①定期ガイド：毎週土曜日、日曜日 午後2時～
- ②予約ガイド：一週間前までに事務所の方にお申し出ください。

交通案内

MRT（地下鉄）をご利用の場合

- ・古亭駅2番出口、徒歩10分

路線バスをご利用の場合

- ・市バス253、297、673：「強恕中学校」下車、徒歩5分
- ・市バス297、671、673：「河堤小学校」下車、徒歩5分

車をご利用の場合

- ・水源快速道路の近くに駐車場あり（有料）



KISHUAN 1917

台北市指定
重要文化財



紀州庵ご案内

主催：  台北市文化局
Cultural Affairs Bureau of Taipei

協賛：  台灣文學發展基金會

紀州庵

KISHUAN 1917

水岸風情

料亭支店「紀州庵」は、日本時代の1917年川端町にて平松家により経営されておりました。

（現在の金門街—廈門街の間、汀州路の南から新店溪畔あたり）。「紀州」は地名、江戸時代の「紀州藩」（現在の大阪南部紀伊半島和歌山県あたり）にあたります。「庵」とは世捨て人や僧侶などの閑居する小さな草葺（くさぶ）きの家のことです。平松家が「紀州」と名付けたのは、故郷への思いからかもしれません。

1927年～1928年、経営状況が益々繁盛する中、平松徳松が本館を修築し、経営規模も拡大しました。料亭は三階建ての「本館」、長屋形式の宴会広間「離れ」と重要な貴賓を接待する「別館」より構築されています。当時、新店溪畔では川遊びの宴会風景が流行しており、「紀州庵」は美食と景色の溪畔料亭として有名になりました。

太平洋戦争期間、「紀州庵」は営業停止となり、臨時患者収容施設となりました。1945年終戦後は、「紀州庵」はまた日本人の臨時居住場所ともなりました。その後、国民政府が引き受けて、公務員の宿舎となり、小説家王文興も少年時代をここで過ごしました。小説《家變》もここで生活を基に書いたものです。



新生紀州庵

1996年、1998年の二度の大火災により、「紀州庵」の本館と別館はほぼ焼け落ち、元の日本式建築物は水漏れのする屋根と壊れた柱の「離れ」（現建物）のみが残りました。2002年末より、「台湾大学大学院建築・都市農村研究科」と「同安街文化の森促進会」、のちに「城南水岸文化協会」も加わり、この三つの共同努力により、最初はガジュマル保護の使命からスタートしました。その後、「紀州庵」とその周りの文学と歴史を保護する使命へと繋がりました。2004年1月、台北市政府は「紀州庵」を重要文化財に指定しました。この地域意識の高まり過程は、民間の力で都市発展を促す成功の例とも言えるでしょう。

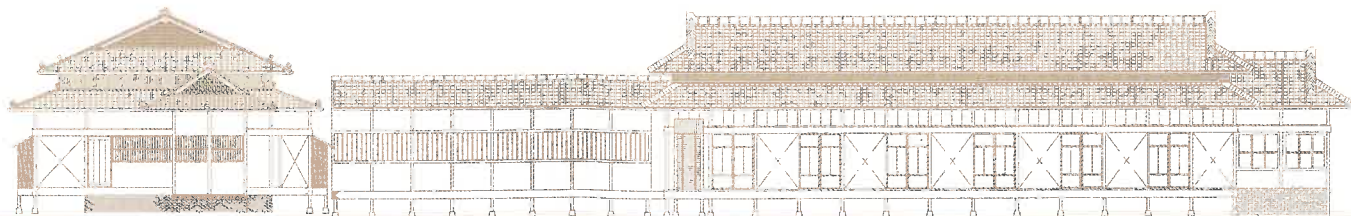
2013年1月から、台北市文化局が紀州庵の修復工程を始め、1年あまりをかけて、2014年5月25日、「紀州庵」が正式に開幕する予定です。



重要文化財再構築



修復後の「紀州庵（重要文化財）」は、元々使用していた「離れ」の形式を保持し、室内は5部屋、各12畳、合わせて60畳、約30坪の畳の広間です。（人数上限93名）台湾で数少ない日本式建築物です。2014年4月、台北市文化局が「財団法人台湾文学発展基金会」に委託し、文学イベントの企画と推進を行っています。人文、飲食、演劇、旅行などをテーマに、国内外の優れた芸術、文化団体を招き、パフォーマンスを行ったり、教室やセミナーを開設する等、文学がより一般庶民の生活に近づきます。



広間

展示区 | 紀州庵古物件の展示、紀州庵の歴史と修復過程
パフォーマンス区 | 各種テーマと文学を併せ、
各種の体験教室、パフォーマンス及びセミナーを不定期開催

戶外エリア

戶外エリアー | 城南文学公園、樹齢100年の老樹を囲まれた読書空間



| 広間 |

| 戶外エリア |

紀州庵

文／學／森／林

日本語

紀州庵
文／學／森／林

開館日 火曜日～日曜日 10:00-18:00
金曜日、土曜日 10:00-21:00

休館日 月曜日

重要文化財は金曜日の夜間開館を21:00まで延長します

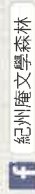
電話 02-23687577 (代表)

FAX 02-23688139 (代表)

メールアドレス service@kishuan.org.tw

10082 台北市中正区同安街 107 番

公式サイト <http://www.kishuan.org.tw>



紀州庵文學森林



kishuan107

ガイドサービス

定期ガイド 毎週土曜日、日曜日 午後 1:30 ~
予約ガイド 一週間前までにネットでお申し出ください。

アクセス

MRT (地下鉄) をご利用の場合

古亭駅 2 番出口、徒歩 10 分

路線バスをご利用の場合

市バス 253、297、673 : 「強恕中学校」下車、徒歩 5 分

市バス 297、671、673 : 「河堤小学校」下車、徒歩 5 分

車をご利用の場合

水源快速道路の近くに駐車場あり (有料)

同安街は一條安靜の小街
住著不滿一百戶的人家
街的中腰微微收進一點彎曲
盡頭通到灰灰的大河那裏

—— 王文興 《欠缺》
(原文)





2004年、台北市政府は「紀州庵」を重要文化財に指定しました。2011年、旧紀州庵本館横に新たに新館が建てられたほか、台北市文化局が財団法人台湾文学発展基金に経営権を委託し、「紀州庵文学の森」という名で文芸関連活動を行っています。2013年、台北市文化局が紀州庵の修復工程を始め、1年あたりをかりけて、2014年5月25日、「紀州庵」が正式に開業しました。

「紀州庵文学の森」は修復後の旧館のほかに、現在は3階建ての新館を中心に、今まで数千回以上の様々な文芸イベントを開催し、台北で文学の発信基地となります。

文学の 発信基地



文芸喫茶／文学サロン

台北唯一、文学を味わうと同時に、読書を楽しむレストラんです。さらに、「作家の創作料理」により、文学と料理の関係が繋がります。百年の重要文化財の歴史を感じながら、緑の庭園も満喫し、心と体の癒れを癒します。

文芸ショップ

文学の可能性を無限大に！文学と芸術を一緒に楽しめる文芸ショップです。経典などの書籍をはじめ、大衆文学、児童文学関連の作品とデザインーツが数多く揃っています。文学類の書籍は各期展覧会に添じてテーマごとに陳列し、独立出版者の作品や古本など、様々な趣向にお応えしています。

2階 多目的ルーム

講演会、セミナー、小規模なショーや新作発表会など多様なイベントが行われ、50名から80名までの利用人数に対応できます。プロジェクト、音響設備などの会場施設を整備します。閑静な雰囲気がある空間で、文学の価値を尋ねます。

3F 紀州庵人文講堂

様々な人文・経典講座、講演、研修、読書会が行われ、30名から40名までの利用人数に対応できます。プロジェクト、音響設備などの学習環境を整備します。「紀州庵」が眺められ、静かで落ち着いた雰囲気のあるスペースで、色々な文学の可能性を探ります。



料亭支店「紀州庵」は、1917年川端町にて平松家によって経営されていました。「紀州」という地名は、江戸時代の「紀州藩」です。現在の和歌山県にあたります。平松家が「紀州」と名付けたのは、故郷への思いからかもしれません。戦後の1950年代、「紀州庵」は公務員の宿舍となり、小説家王文興も少年時代をここで過ごしました。小説『家変』もここでの生活を基に書いたものです。

1996年、1998年の二度の大火災により、「紀州庵」の本館と別館はほぼ焼け落ち、元の日本式建築物は水漏れのある屋根と壊れた柱の「離れ」（現建物）のみが残りました。2002年末より、「台湾大学大学院建築・都市農村研究科」と「同安街文化の森促進会」、のちに「城南水岸文化協会」も加わり、この三つの共同努力により、古木を守る使命を担ってきました。その後、「紀州庵」とその周りの文学と歴史を保護する使命へと繋がりました。

1

日本統治時代、「離れ」の東側にある庭園の中で、枯山水も、草芝も、遠くの日御湯亭も眺められました。

2

新居添畔とコンクリート橋で繋がった3階建ての「紀州庵」の本館は1996年大火災により、「紀州庵」の本館はほぼ焼け落ちました。

3

広間は、日本統治時代では宴会場として使われました。今では各種テニスと文学を併せ、各種の体験教室、パフォーマンス及びセミナーを不定期開催しています。ここで読書も、自由に休憩もできます。古木の下で、大人も子供も優しい日差しを浴びながら、一冊を満喫できます。

4

紀州庵の周辺と生態系

日本統治時代、水際に建てられた「紀州庵」の造った庭園が今まで幸いに残り、保存樹木のほかに、緑の庭園も、自然環境もそろい、都市の緑と言えます。



保存樹木

枝葉が密生し、樹齢七十年を超える古木。



保存樹木

「紀州庵」の傍らに立つ並んでいる古木、推定樹齢90年以上。



ズグロミゾゴイ

よく土を掘ってミミズを捕って食べています。



五色鳥

隠蔽色の羽を持つているので、木の間に隠し、囀り声しか聞こえません。



メジロ

都市の友の1人、花の咲く木の間に巣があった昔中を見つけやすい鳥です。



カササギ

小さいオナガに似ています、よく低木の隙間に活動しています。

再び生ま
れ変わる